

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 8年 4月 4日

事業所名 放課後等デイサービス てんとうむし

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		学習室、プレイルームなど用途ごとに部屋を使い分けている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		階段での転倒防止の為、手すり、滑り止めマット、転倒時の衝撃吸収マット等設置している。
	4 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境か。また、子どもたちの環境に合わせた空間となっているか	○		毎日、室内の清掃・使用した玩具の消毒を行っている。	
	5 必要に応じて子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか	○			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎日、朝礼・終礼を実施し、支援に対する方向性や注意点等を共有し業務改善に努めている	
	7 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年度末にアンケートを実施する事で保護者のニーズや支援や業務の改善点を把握するよう努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		日々の打ち合わせなどで改善につなげている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	10 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		他機関が実施する研修への参加や自社での研修も実施している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	12 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者に対するモニタリングや、職員間で各児童の特性や課題に対する情報共有する機会を設け目標を設定している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		各児童への対応方法を職員間で共有し統一して行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○			
	15 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用しているか	○		契約時に行ったアセスメントシートや、日々の活動記録を使用している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		活動の目的を共有したうえで、活動計画書を作成している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		各職員が活動を立案し、内容や危険性について職員全員で検討している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		集団で行う活動、個人で自由に行う活動を分け、児童のニーズに合わせて提供する活動を変えている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		送迎表や活動計画書、ワークスケジュール表などを作成し、毎日の朝礼・昼礼にて職員間で確認してから業務に取り組んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日終礼の時間を設け、支援に対する振り返りや改善点・共有事項を話し合い記録している。	
	22	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日、支援終了後に放課後等デイサービス活動記録をつけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		職員間で情報を共有し、必要であれば保護者に家庭での生活の様子を聞いたうえで、計画の見直しを判断している。	
	24	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	○		各児童の特性や課題に合わせて絵カードなどを使用し選択や意思の確認をしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が担当し、参画している。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○			
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		当事業所の利用予定を学校にも共有し、送迎時の行き違いなどのトラブルがないよう努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		当事業所をご利用いただく中で見えてきた特性や特徴は保護者の許可を得たうえで他事業所に提供している。	
	31	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要であれば助言を受けに行く
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		必要であれば他事業所と連絡を取り合って相互交流に努めていく。
	33	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		必要であれば協議会等に参加し相互交流に努めていく。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		活動の様子を送迎時にお伝えするほか、その都度スマートフォンアプリを使用して連絡を取っている。	
	35	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		プログラムとしてのペアレント・トレーニングは実施していないが、ご相談があった場合は事業所へ来所いただき、話し合いの場を設けている。
	36	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		ご契約時に十分に説明を行い、確認をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		ガイドラインの説明と5領域について説明を行い、同意を得ている。	
	39	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		スマートフォンアプリやお電話等で対応している。	ご相談があった場合は面談等もを行っている。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか		○		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情等があった場合に備えマニュアルを作成している。担当者を配置し、その都度対応できるよう体制を整えている。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページ・スマートフォンアプリを活用し、発信している。	定期的に会報を発行し活動内容などを保護者に伝えている。
	43	個人情報に十分注意しているか	○		マニュアルに基づき個人情報の保護には細心の注意を払っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		スマートフォンアプリでの情報交換や送迎時等に直接伝達している。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知し、発生を予想した訓練を行っているか	○		各種マニュアルについて職員全員が内容を把握し、要望があれば保護者等に開示できるよう準備している。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回、地震・水害等の防災避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		服薬やてんかん発作について対応等を保護者に確認し、職員間で共有し把握している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食物アレルギーの有無について保護者に確認し、おやつ時など食事の機会がある際には職員間で提供する内容を確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○		安全計画を作成し、チェックリストに基づき措置をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	52	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		職員間で予防の為の対策を話し合い、ヒヤリハット事例集を作成し職員に対する周知を徹底している。	ヒヤリハット事例の再発防止(事故の予防)のため、ヒヤリハット事例検討会の内容を充実させる。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		自社研修を実施し、虐待あるいは身体拘束が児童の心身にもたらす影響について理解を深めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		やむを得ず身体拘束を行う場合について保護者に十分に説明し、同意を得ている。また、身体拘束を行った場合はその様態を記録し、いつでも該当児童の保護者に開示できるよう準備している。	身体拘束廃止に向け、定期的な研修の実施、該当児童における職員間の情報共有、他事業所との連携、代替案の模索、職員のストレスチェックなど、あらゆる観点から身体拘束を行わない支援の実現を目指している。